

科目分類	看護専門科目 (救急・災害看護学)	開講時期	1・2年	前期		
研究キーワード	救急医療・トリアージ・倫理					
授業科目	救急看護学特論					
英文	Advanced Study in Emergency Care					
選択/必修	選択	単位数 (時間数)	2単位	30時間	授業形態	講義
担当教員	杉浦 良啓 ・ 高原 美樹子					
メールアドレス	y-sugiura@tsuruga-nu.ac.jp (杉浦)	m-takahara@tsuruga-nu.ac.jp (高原)	オフィスアワー	授業の終了時		

授業目的	救急医療の初療段階における看護について学ぶ。 患者へのアプローチの方法、トリアージ、家族看護、チーム医療の重要性などについて学ぶ。
授業概要	わが国の救急医療体制、救急患者および、その家族の特性、看護師の役割などを概説する。さらに、主症状からトリアージによって重症度を判断し、医療が行われていく患者へのアプローチのあり方について、いくつかの主要病態を通して学習する。また、救急医療における倫理的課題についても事例を通して検討し、学習を重ねる。
授業内容	<p>第1・2回 救急医療・救急看護学概論 救急医療体制、救急医療の目指すもの、救急患者の特徴、救急看護師の役割</p> <p>第3・4回 救急患者への対応の実際(病態の緊急度、重症度からのアプローチ)① 意識障害・ショック事例</p> <p>第5・6回 救急患者への対応の実際(病態の緊急度、重症度からのアプローチ)② 痛み(頭痛・胸痛・腰背部痛・腹痛など)</p> <p>第7・8回 救急患者への対応の実際(病態の緊急度、重症度からのアプローチ)③ 小児・高齢者の事例</p> <p>第9・10回 救急患者への対応の実際(病態の緊急度、重症度からのアプローチ)④ 外傷事例(頭部・胸腹部・四肢骨折)</p> <p>第11・12回 救急医療・看護における倫理的課題① 脳死判定と臓器提供、臓器移植と宗教など患者・家族の意思決定</p> <p>第13・14回 救急医療・看護における倫理的課題② 社会復帰と障害受容、ターミナル期の患者 (DNAR)</p> <p>第15回 研究課題の探索</p> <p>第1回・2回 杉浦・高原 第3回～10回 杉浦 第11回～15回 高原</p>

<p>教科書 参考書等</p>	<p>教科書：林寛之、前田重信：Dr. 林のワクワク救急トリアージ、MC メディカ出版          初学者のための「看護覚え書」(1)、現代社          初学者のための「看護覚え書」(2)、現代社          参考書：寺沢秀一 研修医当直御法度 第2班 百例帖、三輪書店          系統看護学講座 別巻 救急看護学 医学書院</p>
<p>成績評価 基準・方法</p>	<p>プレゼンテーション60%、レポート40%</p>
<p>履修要件</p>	<p>なし</p>
<p>関連科目</p>	<p>医療倫理学</p>
<p>留意事項 その他</p>	<p>なし</p>